



AUGUST 30, 2025

A&J NEWS LETTER

MAIN CAMPUS

A&J Working Holiday 準備コース



ワーキングホリデー前の基礎英語能力の構築を、現地の語学学校で行うのではなく、費用対効果の高いバギオ A&Jでの留学で提供します。ワーキングホリデーで特に人気の高い職場である、カフェ、レストランや、ホテル、ゲストハウス、スーパーマーケット、おみやげ店などで英語による接客業務がスムーズに行えるよう、カスタマーサービスに特化したカリキュラムを提供します。



A&J MAIN CAMPUS



Working Holiday 準備コース

標準スケジュール

A&Jのワーキングホリデー準備コースでは12週間コースと8週間コースをご用意しております。おすすめは12週間コースです。最初の4週間のESLの授業で英語の基礎を築き、8週目からのOJTでしっかり接客英語を身に着けることができます。

	12週間コース	8週間コース
1W	ESL	ワーキングホリデー準備
2W	ESL	ワーキングホリデー準備
3W	ESL	ワーキングホリデー準備
4W	ESL	ワーキングホリデー準備
5W	ワーキングホリデー準備	ワーキングホリデー準備
6W	ワーキングホリデー準備	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間
7W	ワーキングホリデー準備	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間
8W	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間	評価テスト 卒業
9W	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間	ワーホリコースの生徒には 担当講師の中から1人が メンターとしてつき、 入学から卒業まで継続して サポートします。
10W	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間	
11W	ワーキングホリデー準備 +OJT 10時間	
12W	評価テスト 卒業	

おすすめ!



※評価テストの週はテスト以外の日や時間は通常授業があります。

※このスケジュールは学生の習熟度、講師、ホリデイ、OJT先のお店都合などで変更になる可能性があります。



Working Holiday 準備コースの授業

【12週間コースの1～4週目のモデル授業内容】

6コマの授業は下記の内容です。英語の基礎を鍛えるESLを受講します。

- 1 時間目：スピーキング
- 2 時間目：リスニング
- 3 時間目：リーディング
- 4 時間目：ライティング
- 5 時間目：文法
- 6 時間目：語彙



A & JのESLは

①スピーキング/②リスニング/③リーディング/④ライティング/
⑤文法/⑥語彙/⑦発音/⑧リスニング+スピーキング/⑨オールスキル（①～⑦含めた内容）
の9つの科目から選べます。

【12週間コースの5週目または8週間コースの1週目以降の授業内容】

6コマの授業は下記の内容です。

- 1 時間目：OJTの準備（メニュー把握、接客英語）
→OJTが始まるとESLの授業になります。
- 2 時間目：履歴書、添え状の書き方、面接練習
- 3 時間目：評価テストに向けてIELTSスピーキングpart 2
- 4 時間目：プレゼンテーション準備
- 5 時間目：ESL（弱点強化や生徒要望）
- 6 時間目：ESL（弱点強化や生徒要望）



8週間コースの場合は、生徒のレベルに合わせて一部にESLを組み込むことがあります。

例えば、最初の2週間をESL、残りの期間を上記の授業内容で進める、といった形です。

具体的な振り分けは入学テストの結果をもとに当校の講師が判断します。

なお、英語の基礎が十分でない方には12週間コースをお勧めします。



OJT (研修)

曜日：

金曜日 18:00~21:00

土曜日 10:00~17:00(休憩1時間含)

場所：RestBar / Cafe Will

通勤方法：タクシー 約10分/約70ペソ

※学生様負担



仕事内容：ご案内、注文を受ける、料理・ドリンクのサーブ、清算補助
※ドリンクを作ったり、キッチンで皿洗い等をすることはありません。

培われるスキル：英語を使ったお客さんやスタッフとのコミュニケーション



Cafe Will
営業時間 8:30am~1:30am
11 M.H. Del Pilar St, Brgy. Burnham - Legarda, Baguio, 2600 Benguet

RestBar/Cafe Will

ワーキングホリデーコース受講生は、バギオ中心地の人気レストバー「Cafe Will」でOJT（職場体験）を行います。フィリピンでは、食事やカフェ、アルコールを楽しめる店を「RestBar（レストバー）」と呼びます。300人以上を収容できる広い店内を持つCafe Willは、周辺でも集客力の高いスポットの一つです。フィリピン料理をはじめ、パスタやフライドポテト、スイーツ、カクテルまで幅広いメニューが揃っています。



12週間のワーホリ準備コース留学を経て、卒業されたNAOさんのコメント

OJT(職場体験はどうでしたか?)

私はレストランで働くこと自体が初めてだったので、それに加えて英語での接客となると最初はとても苦労しました。ですが、徐々に慣れてきてスピーディーに仕事ができるようになりましたし、自信をもって堂々とお客様に接することができるようになったと感じます。



～最終評価テストについて～

ワーキングホリデーコースの生徒は、最終週に半日かけて行うアセスメントテスト（評価テスト）を受けます。これに向けて約8週間、プレゼンテーションや面接練習を重ねます。テスト内容は、プレゼンテーション、OJTロールプレイ（カフェでの接客訓練）、IELTSスピーキングPart2、模擬面接です。

1. プレゼンテーション

○評価システム

- 内容は自由に選択可能
- 制限時間は25～30分
- 資料をスクリーンに映して発表
- 評価は英語力・服装・態度・声・資料の質・論理性など16項目
- 評価者は3人の先生
- 発表後は質疑応答があり、臨機応変な対応が必要



★プレゼンテーションのメリット

- 大勢の前で英語を話す経験が自信につながる
- プレゼン準備を通して英語表現の幅が広がる
- 準備から本番を通じて資料作成スキルが身につく
- 発表を通じて人前で話す力を鍛えられる



2. OJTのロールプレイ

○評価システム

- 実習で使ったカフェのメニューを使用
- ヘッドティーチャーが客役でテスト
- 一般質問からクレーム対応まで出題
- 言葉遣い・服装・マナーも評価
- 5段階×5項目で採点
- 試験時間は約15分



★OJTロールプレイのメリット

- 実際の接客を想定することで即戦力となる実践力が身につく
- 突発的な状況への対応力を鍛え、柔軟なコミュニケーション力を養える
- 英語での接客表現を実際に使うことで実用的な会話力が高まる
- 接客を通して、国際的なホスピタリティマインドを習得できる

3. IELTS SPEAKING part TASK2

○評価システム

- IELTSスピーキング Part2 に沿った問題を出題
- 準備1分+回答2分
- 実際のIELTS評価基準（18段階）で採点
- バンドスコアに基づき評価



★IELTS SPEAKING Part2 のメリット

- 大学進学や就職に役立つ英語力を養える
- フォーマル・アカデミックな表現を実践できる
- 論理的に話す練習で表現力が向上する
- 限られた時間でまとめる力が身につく

4. 模擬面接（生徒の希望職種に合わせて）

○評価システム

- 評価テスト前にレジュメ（履歴書）とカバーレターを提出
- 留学先の国に合わせてフォーマットで作成
- 履歴書は実際の就職活動にもそのまま使用可能
- 面接は履歴書を基に質問
- 長所・志望動機などの自己アピールを実施

★模擬面接のメリット

- 実際の就職活動に直結する履歴書が完成する
- 面接で必要な自己PR力を養える
- 本番さながらの面接経験で自信をつけられる
- 留学後すぐに仕事探しに活かせる



⚠ ワーキングホリデー保証コースについて

- 保証コースを選択した場合：
 - フリーナイトグループクラスへの参加必須
 - 月～木の夜に行うボキャブラリーテスト参加必須
 - 月～木は外出禁止
- 8週間コースには保証制度なし
- 評価テストで4項目すべて75点未満の場合
→ 授業料免除で延長可能（延長は任意）

